

## かたしなチャレンジスキー

- 開催日 2020年1月11日～1月13日
- 会場 尾瀬倶楽部みなもとおよびかたしな高原スキー場
- ディレクター名 高井瞳（ザビ）

### ■キャンプのねらい

①「できた！」の瞬間を大切に！  
⇒自信と意欲へ繋ぐ

②優先事項は「安全」と「楽しい」  
⇒「スキー楽しい！またやりたい！」という気持ちを持ち帰ってもらう

### ■同行スタッフ（キャンプネーム）

キャッチ、こーすけ、しばていん  
ねずみ、みり、みんと  
よもじ、りょーすけ、レッサー

### ■活動内容

<1日目>  
集合、移動  
尾瀬倶楽部みなもと到着  
スキーレッスン①  
ナイトハイク

<2日目>  
スキーレッスン②（AM）  
スキーレッスン③（PM）  
大レクリエーション大会

<3日目>  
スキーレッスン④  
みなもと出発  
移動、解散



かたしな高原へ出発！バスはみんなでゲームをしながら過ごしました。



着いたらブーツと板合わせ。班ごとに初日のレッスン開始です！



まずは片足だけ板をつけて、辺りを一周。みんな上手に歩けました。



初心者は平地で足を大きく開く練習をしました。できたらハイタッチ！



宿の夕食は鍋。次の日のスキーに向けてモリモリ食べました。



夕食後はナイトハイク。急な斜面をみんなで駆け上がりました。



2日目。経験者班は朝イチでリフトに乗ってコースを滑りました。



午後には全班リフトに乗りました。子どもたちは大興奮！



コツを掴めばもう早い！一列で上手に滑れるようになりました。



休憩タイムです。チョコやグミでエネルギーチャージ！



経験者班は少し急な斜面にもチャレンジしました。



夜は大レク大会！歌って踊って盛り上がりました。



3日目。青空が広がる気持ちの良い天気でした。最終日も楽しむぞ！



少し斜度があるコースもスピードを抑えながら上手に滑りました。



スピードもへっちゃら！子どもたちは軽快に森を駆け抜けます。



リフトの下車も転ばずに下りれるようになりました。



バスに乗って帰る直前に宿でカマキリの卵を発見！



スキーだいすきー！またみんなで楽しく滑りましょう。

## ■キャンプのエピソード

### 「怖い？いや、楽しい！」

1日目のナイトハイクのこと。スタッフが持つ複数個のライト以外、辺りは真っ暗。子どもたちからは「怖いよ」という声が聞こえました。スタッフにしがみつきながらも歩みを進め、川沿いの開けた場所でみんなで夜空を眺めました。すると、空には都会では見られないほどの星が輝き、子どもたちは「わあキレイ！」と感動の声をあげました。これをきっかけに気づけば子どもたちは怖さを忘れ、夜を楽しみ始めました。夜の寒さでより締まって固くなった雪を光に当ててみたり、口からでる白い息を楽しんだり、やはり子どもは遊びの天才です。

「怖いもの」や「苦手なもの」はきっと捉え方次第で、「楽しいこと」や「貴重な体験」をもたらしてくれます。不安な時こそ勇気を持って一歩踏み出し、素敵な経験をたくさん積んで欲しいと思います。

### 「スキーだいすきー！」

3日間たくさんスキーをしました。慣れない道具、慣れない環境の中でストレスを感じることもあったでしょう。その中で「ブーツをはけた」「板をつけて歩けた」「滑って止まれた」「リフトに乗れた」、この小さな「できた」の積み重ねが子どもたちのスキーへのポジティブな感情を支えていました。

3日目にコースを回りながら写真をとっていると、カメラを見てすぐに両手を広げ、笑顔でポーズを決めてくれる子どもたち。「スキーどう？」の問いかけに「楽しい！」「もっと滑りたい！」「スキーだいすきー！」と口をそろえて答えてくれました。

スキーは自転車のように一度乗り方を覚えれば、しばらく離れていても滑れるものです。今回のキャンプで育んだ「すきーだいすきー！」という気持ちを今後も大切に、またグレンデに戻ってきてほしいです。